

製品名: プラコフィリン 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16237**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	97kDa

抗原情報

遺伝子名	PKP2
別名	PKP2; Plakophilin-2
遺伝子 ID	5318.0
SwissProt ID	Q99959
免疫原	抗血清はヒト PKP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 632-681

背景

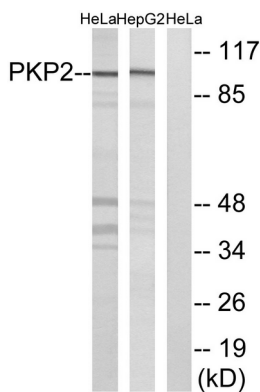
この遺伝子は、アームリピート（アルマジロ）遺伝子ファミリーおよびプラコフィリン遺伝子ファミリーのメンバーをコードしています。プラコフィリンタンパク質は多数のアルマジロリピートを含み、細胞デスモソームおよび核に局在し、細胞骨格においてカド

ヘリンを中間径フィラメントに連結する役割を果たしています。この遺伝子産物は、 β -カテニンのシグナル伝達活性を制御する可能性があります。2つのタンパク質アイソフォームをコードする、2つの交互スプライシング転写産物が同定されています。この遺伝子座と高い相同性を示す加工偽遺伝子が、染色体 12p13 にマッピングされています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患: PKP2 の欠陥は、家族性不整脈性右室異形成症 9 (ARVD9) [MIM:609040]の原因です。不整脈性右室心筋症 9 (ARVC9) としても知られています。ARVD は、右室心筋の部分的な変性、電気的不安定性、および突然死を特徴とする常染色体優性疾患です。臨床的には心電図および血管造影の基準によって定義されます。病理学的所見は、心室心筋の脂肪および線維性成分への置換であり、主に右心室自由壁に影響を及ぼします。機能: 接合部プラークにおいて役割を果たす可能性があります。PTM: DNA 損傷時にリン酸化されますが、おそらく ATM または ATR によるものです。類似性: β -カテニンファミリーに属します。類似性: 8 つの ARM リピートを含みます。細胞内局在: 核内およびデスモソームと関連しています。組織特異性: 広く発現しています。単層上皮および重層上皮のデスモソームプラーク、ならびに心筋やリンパ節濾胞などの非上皮組織に認められます。ほとんどの重層上皮では基底細胞層のデスモソームに見られ、基底上層には存在しないようです。

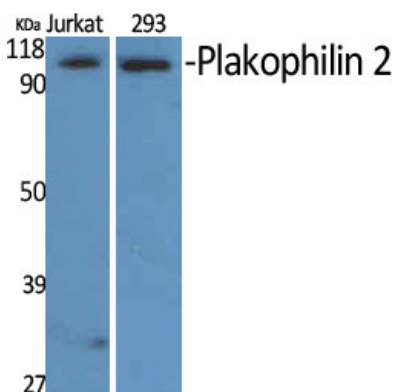
研究分野

不整脈性右室心筋症 (ARVC)

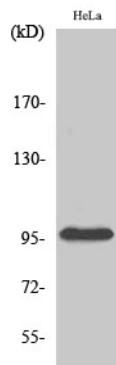
画像データ



PKP2 抗体を用いた HeLa 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンでは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈した Plakophilin 2 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



1: 500 に希釈した Plakophilin 2 ポリクローナル抗体を使用した HepG2 細胞のウエスタンブロット解析。